

幅広く総合的な
ジェネラリストへ！

生涯学習制度について

登録理学療法士
更新

5年ごとの更新制



公益社団法人

神奈川県理学療法士会

Kanagawa Physical Therapy Association

学術局 新人教育部 右田 正澄

本日の内容

1. 登録理学療法士とは
2. 前期研修
3. 後期研修

4. 認定理学療法士、専門理学療法士
5. 総括



登録理学療法士とは

「理学療法士」の仕事が生まれて50年以上が経過し、2022年よりリニューアルされた**生涯学習制度**が始まりました。

今まで以上に国民に対して専門職の質を保証するために、「**5年ごとの更新制**」を取り入れることで、**生涯にわたり知識・技術の維持・向上**が可能となる制度設計を行っています。

我々には専門職として、**自己研鑽**を含めた生涯学習を継続して行う**責務**があります。更なる会員の質の向上をめざしていくために学習に取り組んでください。

完全解説

生涯学習制度

あなたの可能性を
広げてみませんか？



生涯学習制度の第1の目標：登録理学療法士

条件

- ① 理学療法士として**5年以上**の実践経験を有する者
- ② 日本理学療法士協会が定めた**150時間以上のカリキュラム**を終了した者



生涯学習制度のイメージ図

専門理学療法士制度

専門理学療法士

5年ごとの更新制

認定理学療法士制度

認定理学療法士

5年ごとの更新制

生涯学習制度

前期研修

座学：22 コマ (33 時間)
実地研修：32 コマ (48 時間)

IMPORTANT

後期研修

座学：51 コマ (76.5 時間)
A：臨床推論
B：臨床疫学
C：領域別研修 (座学)
D：関連領域
E：領域別研修 (事例)、(育成)
F：最近の知見
実地経験：3 年 (36 か月)

登録理学療法士
(前期研修・後期研修の修了)

5年ごとの更新制

登録理学療法士

最短履修期間：2 年間

最短履修期間：3 年間

卒前教育との関係

「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」：2020年入学者以降

【臨床実習】

- ①総単位数の増加
- ②臨床実習指導者要件が変更
- ③診療参加型臨床実習

「**基本的理学療法を助言・指導を受けながら行えること**」

- 卒業時の学生のスキル⇔乖離⇔新人に求めるスキル
- 新人理学療法士職員研修が実施されていない場合、新人職員が職場に上手く適応できず → 休職や早期離職の一因となる可能性

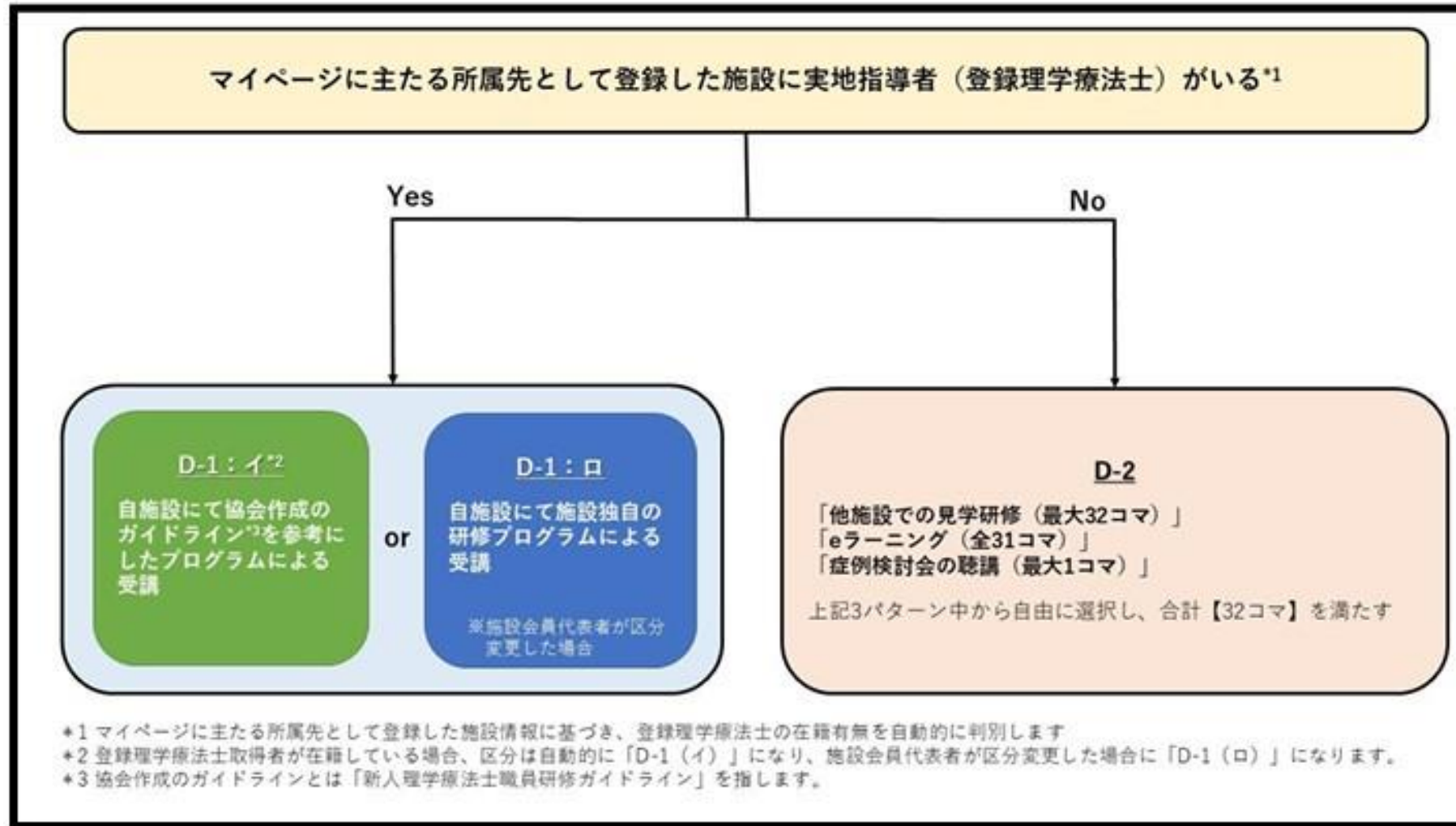
前期研修A・B・C

- ・入会初年度は9月以降に受講
- ・すべてeラーニング
- ・履修順序は問わない
- ・費用：無料
- ・申込：必要

講座名	講義テーマ	コマ数	修了要件	研修形式
A：初期研修	A-1 職業人と倫理	1コマ	6コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または eラーニング
	A-2 協会組織	1コマ		
	A-3 人間関係および接遇	1コマ		
	A-4 理学療法における関係法規	1コマ		
	A-5 理学療法における情報管理	1コマ		
	A-6 生涯学習について	1コマ		
B：理学療法の基礎	B-1 一次救命処置と基本処置	1コマ	6コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または eラーニング
	B-2 クリニカルリーズニング（臨床推論）	1コマ		
	B-3 理学療法の研究方法論	1コマ		
	B-4 統計方法論	1コマ		
	B-5 症例報告・発表の仕方	1コマ		
	B-6 リスクマネジメント（医療安全）	1コマ		
C：理学療法の専門性	C-1 神経系疾患の理学療法	2コマ	10コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または eラーニング
	C-2 運動器疾患の理学療法	2コマ		
	C-3 内部障害の理学療法	2コマ		
	C-4 予防領域の理学療法	2コマ		
	C-5 チーム医療の中の理学療法	1コマ		
	C-6 がんのリハビリテーション	1コマ		



前期研修D-1：イ・ロ、2：実地研修



区分	条件	方法
D-1：イ	「マイページに主たる所属先として登録した施設」に <u>実地指導者（登録理学療法士）がいる。</u> + 本会作成のガイドラインを参考にしたプログラムによって実地研修を実施する。	●「新人理学療法士職員研修ガイドライン」を参考にしたプログラムによって、実地研修を受講します。 ●32 コマ（48 時間）で修了です。
D-1：ロ	「マイページに主たる所属先として登録した施設」に <u>実地指導者（登録理学療法士）がいる。</u> + 施設独自の研修プログラムが自施設にあり、その研修プログラムで実地研修を実施する。	●自施設独自の研修プログラムにて、実地研修を受講します。 ●32 コマ（48 時間）で修了です。 ※独自の研修プログラムを修了することで、32 コマ（48 時間）換算とする。
D-2	「マイページに主たる所属先として登録した施設」に <u>実地指導者（登録理学療法士）がいない。</u>	●自施設での実地研修の代替方法として、「他施設での見学研修」「eラーニング」「症例検討会の聴講」から選択し受講します。 ●32 コマで修了です。 ※他施設での見学研修は最小1コマ（1.5 時間） ※eラーニングは全31 コマで7.5 時間相当 ※症例検討会は3 回の聴講で1 コマ

※本会作成のガイドラインとは「新人理学療法士職員研修ガイドライン」を指します。詳細は下記 HP をご参照ください。

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/introeduprogram/education_training/

※所属会員に登録理学療法士取得者がいる場合、自動的に「D-1：イ」に分類されます。

※施設の状況により「D-1：イ」ではなく、「D-1：ロ」で実地研修を行う場合、施設会員代表者による施設区分の変更作業が必要です。



履修区分の確認方法

【確認手順】

(1) マイページトップ画面から「生涯学習管理」を押下します。



(2) 「履修状況確認」を押下します。



履修区分の確認方法

「前期研修」のタブを選択し、「履修状況確認」を押下します。

履修状況確認

履修状況

氏名	
会員番号	
所属士会	

前期研修 後期研修 登録理学療法士（更新） 認定理学療法士（新規） 専門理学療法士（新規） 認定理学療法士（更新） 専門理学療法士（更新）

履修状況	履修中	履修状況確認
履修完了日	-	

履修区分の確認方法

「前期研修履修状況」画面が表示されるので、「D 実地研修」内の「履修区分」を確認します。

※区分の種類：「D-1：イ」「D-1：ロ」「D-2」

D 実地研修

履修状況：履修中
最終履修区分：D-1(イ)

実地研修については[協会HP](#)をご参照ください。
※履修区分は所属施設の実地指導者（登録理学療法士）の在籍有無によって変更されます。
受講途中でも変更される場合もあるため、受講時には毎回、必ず履修区分をご確認ください。

履修区分	必要履修	履修数	履修状況	
D-1(イ)	32コマ	0コマ	-	詳細

履修区分の確認方法

「D 実地研修」の項目を確認し、「詳細」を押下します。

D 実地研修

履修状況：履修中

最終履修区分：D-1(イ)

実地研修については[協会HP](#)をご参照ください。

※履修区分は所属施設の実地指導者（登録理学療法士）の在籍有無によって変更されます。

受講途中でも変更される場合もあるため、受講時には毎回、必ず履修区分をご確認ください。

履修区分	必要履修	履修数	履修状況
D-1(イ)	32コマ	0コマ	-

詳細

履修区分の確認方法



「受講申請する」を押下します。

D 実地研修

実地研修

履修区分：D-1(イ)

履修状況：0 / 32 コマ

受講申請は「**在会**」の場合のみ可能です。

修了要件	履修可能コマ数	履修数	履修状況	
【D-1：イ】 自施設での協会作成マニュアルによる実地研修 【D-1：ロ】 自施設での施設独自プログラムによる実地研修 【D-2】 他施設での見学研修	32コマ	0コマ	-	受講申請する 履修履歴
eラーニング	31コマ	0コマ	-	
症例検討会	1コマ	0コマ	-	

前期研修（D-2）の受講

（1）受講条件と受講概要

区分	条件	方法
D-2	「マイページに主たる所属先として登録した施設」に実地指導者（登録理学療法士）が <u>いない。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●自施設での実地研修の代替方法として、「他施設での見学研修」「eラーニング」「症例検討会の聴講」があります。 ●32コマで修了です。

- ・自施設に実地指導者がおらず実地研修ができない場合に限り、以下の3つの方法にて代替し、実地研修を行います。
- ・3つのいずれか、または組み合わせによって合計32コマを履修します。

【受講例】

例	受講方法			合計
	他施設での見学研修 (最大：32コマ)	eラーニング (最大：31コマ)	症例検討会の聴講 (最大：1コマ)	
例 1	32			32
例 2	1	31		32
例 3		31	1	32
例 4	23	8	1	32

※例4に示す内訳の数字はあくまで一例です

前期研修（D-2）の受講：見学研修

- ①見学希望施設の検索
- ②見学受入希望を申請
- ③見学受入担当者の日程調整
- ④見学研修を受講
- ⑤見学研修の修了



見学施設一覧

271施設（2026年4月1日時点）

神奈川県 見学受入施設 15施設

- 麻生リハビリ総合病院
- くにもとライフサポートクリニック
- 横浜市スポーツ医科学センター
- 北新横浜整形外科・外科
- センター南GOTOクリニック
- 横浜たまプラーザ運動器スポーツクリニック
- 横浜新緑総合病院
- 秋山脳神経外科病院
- 吉田整形外科
- イムス横浜旭リハビリテーション病院
- 神奈川リハビリテーション病院
- 平成横浜病院
- ハートフル瀬谷
- 湘南鎌倉総合病院
- ふらっと

前期研修（D-2）の受講：見学研修

「D 実地研修」の項目を確認し、「詳細」を押下します。

履修区分が「D-2」の場合のみ、「他施設での見学研修」の申請が可能です。

D 実地研修

履修状況：履修中

最終履修区分：D-2

実地研修については[協会HP](#)をご参照ください。

※履修区分は所属施設の実地指導者（登録理学療法士）の在籍有無によって変更されます。

受講途中でも変更される場合もあるため、受講時には毎回、必ず履修区分をご確認ください。

履修区分	必要履修	履修数	履修状況	
D-2	32コマ	0コマ	-	詳細

前期研修（D-2）の受講：見学研修

「受講申請する」を押下します。

D 実地研修

実地研修

履修区分：D-2

履修状況：0 / 32 コマ

受講申請は「**在会**」の場合のみ可能です。

修了要件	履修可能コマ数	履修数	履修状況	
【D-1：イ】 自施設での協会作成マニュアルによる実地研修 【D-1：ロ】 自施設での施設独自プログラムによる実地研修 【D-2】 他施設での見学研修	32コマ	0コマ	-	<input type="button" value="受講申請する"/> <input type="button" value="履修履歴"/>
eラーニング	31コマ	0コマ	-	
症例検討会	1コマ	0コマ	-	

前期研修（D-2）の受講：見学研修

希望する施設情報を入力するため、「施設検索」を押下します。

受講申請

施設情報

施設ID	*	
施設名	*	

+ 施設検索

前期研修（D-2）の受講：見学研修

下記のような画面が表示されるので、施設を検索してください。該当施設がある場合、同画面内に表示されます。



登録内容の変更・確認 生涯学習管理 お支払い管理 選挙サイト 外部リンク

受講申請

施設情報

施設ID

施設名

所属先施設検索

都道府県	<input type="text"/>
市区町村郡	<input type="text"/>
施設名	<input type="text"/> (部分一致)

施設を検索する

前期研修（D-2）の受講：見学研修

希望する施設の「反映する」を押下してください

施設情報

施設ID

施設名

該当施設

1件が該当しました

1 ~ 1件目

東京テスト施設 101-0031 千代田区東神田 1-2-3-4-5	✓ 反映する
---------------------------------------	--------

前期研修（D-2）の受講：見学研修

受講申請は完了です。希望施設の担当者からのご連絡をお待ちください。

受講申請完了

申請を受け付けました。担当者からの連絡をお待ちください。見学に関するお問い合わせは直接施設担当者へご連絡してください。

[HOMEへ戻る](#)

前期研修（D-2）の受講：eラーニング

- 最大 31コマ/32コマが履修可能（31コマ＝7.5 時間相当）
- 残る 1 コマ：「他施設での見学研修」もしくは「症例検討会の聴講」
- 受講順序の指定はないが継続した内容のため、順番に視聴することを推奨
- 視聴確認のための各テストがあり、正解したらコマは修了となる
- 正解するまでチャレンジすることができる（解答回数制限なし）

前期研修（D-2）の受講：eラーニング

大分類	小分類
社会人としてのマナーと行動	1) 社会人としての心得
	2) あいさつ、身だしなみなどの基本的マナー
	3) 接遇の基本
	4) 電話対応のマナー
	5) 来客対応・訪問のマナー
	6) クレーム対応
	7) SNSトラブルを防ぐために
組織・チームの一員としての基礎・心構え	1) 組織における理念・基本方針の理解
	2) 就業規則を理解する
	3) 組織を理解する
	4) リーダーシップとフォロワーシップ
	5) 理学療法の専門性と他職種連携・チームアプローチの基礎
	6) 多職種連携のための信念対立への理解
	7) カンファレンスとプレゼンテーション
	8) 地域の中での役割を理解する
	9) 自己評価～専門職・組織人としての基本姿勢と態度～
理学療法士としての基本的知識と技術	1) 患者情報の収集と評価、ICFを活用した障害像の把握と問題点の抽出
	2) 予後予測に基づくゴール設定、治療プログラムの立案と見直し
	3) 患者・家族への説明と同意 個人情報保護法 患者・家族指導

一般業務管理	4) 関節可動域測定と関節可動域運動（脛骨大腿関節）
	5) 筋力測定と筋力増強運動（股関節周囲筋）
	6) 基本的動作の分析と介入
	7) 装具の活用
	8) 自己評価～理学療法専門技術～
	1) 設備・機器・物品管理
	2) リスク管理と医療事故・インシデント報告
	3) 一次救命処置(BLS)
一般業務管理	4) 感染予防の基礎知識
	5) 標準予防策①(スタンダードプリコーション)
	6) 標準予防策②(スタンダードプリコーション)
	7) 自己評価～管理的側面～

コンテンツ内容：全31コマ

前期研修（D-2）の受講：症例検討会

- 聴講3回 = 1コマ：本要件では1コマ分が履修可能
- 聴講する前に、前期研修「B-5（症例報告・発表の仕方）」の履修が必要



- 後期研修「E：領域別研修（事例）」は、下記のどちらかで聴講しても構わない
 - 「都道府県理学療法士会が**主催**する症例検討会」
 - 「都道府県理学療法士会が**承認**した症例検討会」
 - 「日本理学療法士協会が**主催**する症例検討会」 2025年度より追加

前期研修（D-2）の受講：症例検討会

「前期研修」のタブを選択し、「履修状況確認」を押下します。

D 実地研修

履修状況：履修中

最終履修区分：D-2

実地研修については協会HPをご参照ください。

※履修区分は所属施設の実地指導者（登録理学療法士）の在籍有無によって変更されます。

受講途中でも変更される場合もあるため、受講時には毎回、必ず履修区分をご確認ください。

履修区分	必要履修	履修数	履修状況
D-2	32コマ	0コマ	-

詳細

前期研修（D-2）の受講：症例検討会

「症例検討会」の項目を確認し、「セミナー検索」を押下します。

前期研修「B-5（症例報告・発表の仕方）」が未履修の場合、お申込みできません。必ず先に「eラーニング」または「士会主催研修会」にてB-5を受講してください。

症例検討会

※B-5（症例報告・発表の仕方）の履修後に申込可能です。

	講義テーマ	必要履修	履修数	履修状況	
1	神経心理学療法学、 運動器障害系理学療法学、 内部障害系理学療法学	1コマ	0コマ	-	セミナー検索 履修履歴



生涯学習制度のイメージ図

専門理学療法士制度

専門理学療法士

5年ごとの更新制

認定理学療法士制度

認定理学療法士

5年ごとの更新制

生涯学習制度

前期研修

座学：22コマ（33時間）
実地研修：32コマ（48時間）

後期研修

座学：51コマ（76.5時間）
A：臨床推論
B：臨床疫学
C：領域別研修（座学）
D：関連領域
E：領域別研修（事例）、（育成）
F：最近の知見
実地経験：3年（36か月）

登録理学療法士
（前期研修・後期研修の修了）

5年ごとの更新制

登録理学療法士

最短履修期間：2年間

最短履修期間：3年間

後期研修A・B・C・D・E・F（51コマ）

講座名	講義テーマ	コマ数	修了要件	研修形式
A：臨床推論	A-1 理学療法診断学①	1コマ	4コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または e ラーニング
	A-2 理学療法診断学②	1コマ		
	A-3 画像診断学	2コマ		
B：臨床疫学 (演習)	B-1 臨床疫学 I、II	2コマ	4コマ	
	B-2 文献検索演習	2コマ		
C：領域別研修 (座学)	C-1 神経系理学療法学	27コマ ※詳細は次項 参照	19コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または e ラーニング ※詳細は次項参 照
	C-2 運動器系理学療法学			
	C-3 内部障害系理学療法学			
	C-4 病期別理学療法学			
	C-5 周辺領域と理学療法			
D：関連領域	D-1 栄養学	1コマ	5コマ	士会主催研修会 (対面、オンライン) または e ラーニング
	D-2 創傷治療学	1コマ		
	D-3 薬理学	1コマ		
	D-4 福祉住環境総論	2コマ		
E：領域別研修 (事例)	E-1 神経系理学療法学	2コマ	6コマ	対面またはオン ライン
	E-2 運動器障害系理学療法学	2コマ		
	E-3 内部障害系理学療法学	2コマ		
E：領域別研修 (育成)	E-4 臨床実習指導	2コマ	5コマ	士会主催研修会 (対面、オンラ イン) または e ラーニング
	E-5 臨床教育方法論	2コマ		
	E-6 ティーチングとコーチン グ	1コマ		

講座名	講義テーマ	コマ数	修了要件	研修形式
F：最近の知見	F-1 神経系領域の最近の知見	1コマ	8コマ *F-6 は 3 講 義 (① ~ ③) から 1 講義選択し ての受講で 可	eラーニングのみ
	F-2 運動器系領域の最近の知見	1コマ		
	F-3 内部障害系の最近の知見	1コマ		
	F-4 基礎・公衆衛生領域の最近の知見	1コマ		
	F-5 その他の関連領域に関する最近の知見	1コマ		
	F-6 トピックス① (公認心理師の役割)	1コマ*		
	F-6 トピックス② (管理栄養士・栄養士の役割)	1コマ*		
	F-6 トピックス③ (社会福祉士の役割)	1コマ*		
F-7 協会の方針	1コマ			
F-8 世界の動向	1コマ			

- ・原則 **eラーニング** (一部対面あり)
- ・費用：一部有料
- ・申込：必要

後期研修：受講費

- 受講費：1コマ@300円
- セット価格@2,000円（含まれる講義29コマ）
- セット価格はeラーニングのみに設定された価格
- A、C-1～C-4はセットには含まれない
- **E-1～E-3 症例検討会（事例）：無料**
 - ①「都道府県理学療法士会が主催する症例検討会」
 - ②「都道府県理学療法士会が承認した症例検討会」
 - ③「日本理学療法士協会が主催する症例検討会」

E：領域別研修（事例）：症例検討会



- E-1：神経系理学療法学（2コマ）
- E-2：運動器障害系理学療法学（2コマ）
- E-3：内部障害系理学療法学（2コマ）



	士会「承認」	士会「主催」
開催頻度	主催者の判断	年5回（年度により変更あり）
主催者	各所属施設/ブロック	本会 新人教育部
事前申請方法	登録理学療法士 が申請	マイページからの申請
当日参加方法	JPTAアプリによるQRコードの読み取り	
参加費	無料	
症例検討会の時間	30分/1症例 以上	
修了するまでに必要な参加症例数	発表 → 1コマ 聴講 → 1/3コマ	



県民・関連職種の皆様へ

理学療法士会について

理学療法士の皆様へ

ホーム > 理学療法士の皆様へ > 理学療法士の皆様へお知らせ > 生涯学習制度

理学療法士の皆様へ

● 生涯学習制度

士会『承認』症例検討会に関するお知らせ

神奈川県理学療法士会ルール

- ①演題タイトル（仮でも可）
- ②発表者名
- ③おおよその参加人数

2週間前までに申請をお願いします！

士会『承認』症例検討会・講習会等の申請方法に関する注意 （神奈川県ルール）

士会『承認』症例検討会、士会『承認』講習会・研修会・ワークショップ等の申請は、開催日の2週間前までにお願いします。それ以外の申請をされた場合は、否認させていただくこととなりますので、余裕をもって申請をしてください。

～士会『承認』症例検討会に関するお知らせ～

士会『承認』症例検討会の申請には、①演題タイトル（仮でも可）、②発表者名、③おおよその参加人数をセミナー概要に記入してください。こちらの情報が不足してしまうと、承認することができません。



士会『承認』症例検討会の履修登録の手続き（座長用）および注意事項についてお知らせします。

[士会承認症例検討会履修登録完了までの手続き](#)

[症例検討会が終わった後に行う手続き](#)

[士会承認症例検討会注意](#)



E：領域別研修（事例）：症例検討会

- 各所属施設で実施した症例検討会を後日（数年後）、士会**「主催」**症例検討会にて発表しても**「可」**
→後期研修は3年目以上だが、各所属施設での症例発表は1～2年目での実施が多い
- 学会等で発表した演題（症例報告）でも**「可」**
→学会では2重投稿（発表）は**厳禁**
士会**「主催」・「承認」**どちらでも**「可」**

幅広く総合的な
ジェネラリストへ！

登録理学療法士 更新

5年ごとの更新制



より専門性の高い
スペシャリストへ！

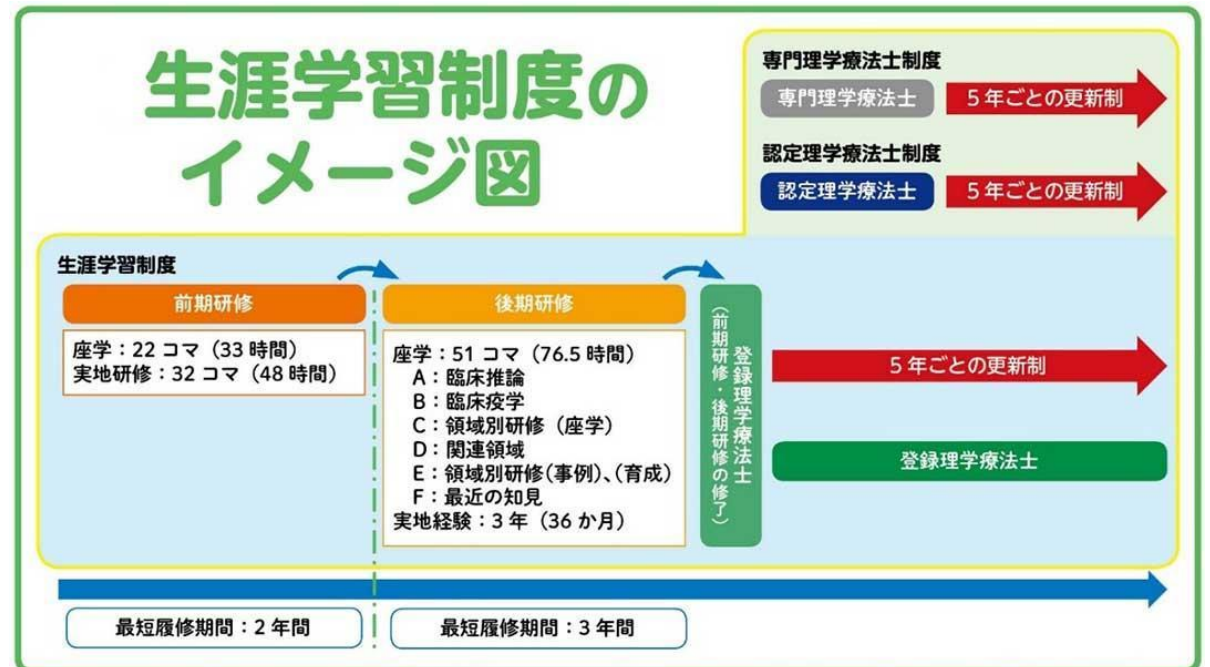
認定理学療法士
専門理学療法士

新規取得・更新



認定理学療法士・専門理学療法士の考え方

- 認定理学療法士は**臨床実践分野**において秀でている理学療法士とし、**認定看護師教育**を模倣した仕組みとする
- 専門理学療法士は**学問的指向性**の高い理学療法士として、リハビリテーション医学会等の**専門医制度**を模倣した仕組みとする
- 階層性ではなく、**並列性**とする



認定理学療法士：21領域

- 脳卒中
- 神経筋障害
- 脊髄障害
- 発達障害
- 運動器
- 切断
- スポーツ理学療法
- 徒手理学療法
- 循環
- 呼吸
- 代謝
- 地域理学療法
- 健康増進・参加
- 介護予防
- 補装具
- 褥瘡・創傷ケア
- 疼痛管理
- 臨床教育
- 管理・運営
- 学校教育



専門理学療法士：13領域

- 基礎理学療法
- 神経理学療法
- 小児理学療法
- 運動器理学療法
- スポーツ理学療法
- 心血管理学療法
- 呼吸理学療法
- 糖尿病理学療法
- 地域理学療法
- 予防理学療法
- 支援工学理学療法
- 物理療法
- 理学療法教育



総括



- 登録理学療法士は**ジェネラリスト**として位置づけられている
- 前期・後期研修は**最短5年**をかけ、登録理学療法士になる
- 前期研修の**実地研修**は、**施設会員代表者**に確認して進める
- 後期研修の**症例検討会**は必須であり、**30分以上**の開催が必要
- 認定・専門理学療法士は**スペシャリスト**として位置づけられている
- これらは**並列**であり、ともに継続的な**5年更新**が必要である

